



変革【Change】、機会【Chance】、 挑戦【Challenge】

川本 吉伸 北陸電力株式会社 理事 エネルギー営業部長

近年、日本社会はかつてないほどの変革期にあります。人口減少や高齢化、エネルギーの安定供給、そして脱炭素社会への移行といった大きな課題が私たちの前に立ちはだかっています。加えて、グローバルな競争環境の激化や、地政学的リスク、サプライチェーンの再構築など、産業界を取り巻く状況は急速に変化しています。こうした環境の変化に対応し、持続可能な成長を目指すためには、従来の枠組みや発想にとらわれず、「変革(Change)」を果敢に進めていくことが必要不可欠です。

北陸地域は、古くから産業集積地として発展してきました。富山県は薬品やアルミニウム加工、石川県は繊維や機械、福井県は化学・繊維産業がそれぞれの特色を持ち、地域経済を支えています。例えば、富山県の製薬産業は長い歴史と高い技術力を誇り、国内外から高い評価を受けています。また、アルミニウム加工業は、軽量化や高強度化が求められる現代社会において重要な役割を担っています。石川県の繊維産業は、伝統と革新を融合させ、独自のブランド価値を築いています。機械産業では、精密機械や工作機械の生産が盛んで、ものづくりの現場を支えています。福井県の化学産業は、高分子材料や新素材の開発で先進的な取り組みを進めており、繊維産業では、機能性繊維や環境対応素材の開発が進んでいます。こうした産業は、高い技術力と品質を誇り、国内外から高い評価を受けています。一方で、エネルギー消費が多い産業が集積しているため、環境負荷の低減や省エネルギー化への対応が急務となっています。

このような状況下、「機会(Chance)」は確実に存在しています。産業用ヒートポンプや電気加熱技術の導入は、廃熱の有効活用やエネルギー効率の向上、CO₂排出量削減に大きく寄与します。例えば、製薬工場や化学工場においては、これまで未利用だった低温廃熱を有効な熱源として再生し、工程で発生する廃熱をヒートポンプで回収し、再利用することで、エネルギー消費の削減と環境負荷の低減を同時に実現することが可能です。また、繊維産業や機械産業でも、電気加熱技術の導入によって、熱エネルギーの効率化や品質向上が期待できます。北陸電力グループでは、これまで以上に「廃熱の有効活用における産業用ヒートポンプ導入コンサル」を強化し、お客様の現場に寄り添った提案を推進してまいります。エネルギーの最適利用を通じて、地域産業の競争力向上と持続可能な成長を支援することが、私たちの使命だと考えています。

「挑戦(Challenge)」なくして未来は切り拓けません。北陸そして全国の産業が直面する課題は多岐にわたりますが、電気加熱技術やヒートポンプの普及促進は、脱炭素化や省エネルギー化の実現に向けた重要な一歩です。変革の時代だからこそ、現状に甘んじることなく、積極的に機会を捉え、果敢に挑戦する姿勢が求められています。北陸電力グループは、地域の産業とともに歩み、持続可能な社会の実現に向けて、エレクトロヒート技術の普及と発展に貢献してまいります。

(かわもと よしのぶ) 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 理事